

---

# 科学、宗教、哲学的な私が思っていること

マックス・ゼロ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

科学、宗教、哲学的な私が思っていること

### 【Nコード】

N0675Z

### 【作者名】

マックス・ゼロ

### 【あらすじ】

ただ思っていることを書いただけです

疑問が無限にわいてくる。それをここに書き連ねていく。小説ではありません。

物質と生物をわかつものは何か？物質も生物も所詮は原子、分子の集合体である。

我々人間に意思、精神、心、魂なるものがあるのなら、動物にもあるのだらう。

どこまであるのだらうか？猿は最も人間に近い動物だらうから心はあるか、猿の毛づくろいは本能的な行動であり、あれが自由意志ではないだらう。ある科学者が本能に従って行動してる場合、それは機械と同じで、意思ではないという。ハエが光に集まってくるのももちろん意思ではないだらう、あれは本能だ。クモが巣を張るのも本能だ。教えてもらってやるものではない。しかし、我々もある意味本能に従って行動しているのではないのか？そう考えると、昆虫や植物にも精神があり、はては物質にも精神があると定義できるだらう。

物質の全てに引力があるのはなぜだらう、全ては引き合う。生物も、群れを作り、雄と雌は

引き合う。さびしがり屋なんだらうか、物質も生物も。

宇宙はビッグバンで誕生したという、宇宙が生まれる前は無だったという、時間も空間もない世界で、エネルギーだけが無限大にあったということだが、エネルギーはあったということなのか？しかし始まりと終わりという概念を持ち出すと始まりの前は？終わりの後は？という疑問が生じてしまうのだ。いや、それでもないか、たとえばここにある漫画がある。1巻の第一話から、最終巻の最終話まである。第一話の前は？ない、こういえる。最終話の後は？ない、こう言えるだらう。またこう考えるのはどうだ、世界はループしている。

たとえばメビウスの輪のように、あるいは球体に、始まりも終わりも定義できない、もし

世界がループしてるとすれば、過去も現在も未来も、全ては録画されたビデオテープのようにすでに決まっていることが永遠と繰り返し一枚絵のように思える。

漫画を何度読み返しても内容は変わらない、ビデオを何度見返しても内容は変わらない。

しかし、ビデオはすごいな、過去を見ている、まぎれもなく過去を見ているのだから。

未来は決まっていると言えるのだろうか？たとえば今私が、右手にボールを持っている。

この手を離すと、ボールは1秒後に100%、地面に落ちる、とすれば、この未来は確実だろう。厳密に言えば1秒後に地球が爆発する確率もないわけではないので、1秒後に地面に落ちないかもしれない。しかし、これを究極的に考えると、未来のあらゆることに決まっていると考えることもできる。ビッグバン宇宙論にしても、宇宙が誕生したその瞬間にすでに未来が確定していると言える面白いことを考えてみた。私は未来を知らない。誰も知らない。しかし、過去は知ることがある程度知れる。ビデオでとった野球の試合を見る。

すでに結果はわかっている、それは過去の映像だから。だけどそれを過去の映像と知らない人が、生中継と思って見ていたら、どきどきしながらその映像を見るのだろう、頑張れ頑張れとか、負けるなとか、思いながら見る。その見る人にとっては、結果はわからないのだ。だけど結果は決まっている、過去だから。高校受験や大学受験、合格発表日にどきどきしながら結果を見る。結果はすでに出ているのだが、それを自分が見るまでは、まだ未来は確定していない。その人にとっては、こう考えると、未来はすでに決まっています、私たちは過去の映像の中のものと考えられないだろうか。

神はサイコロを振らないとするのなら、すでに未来は決まってい

ると言えるのだ。それは我々が知らないだけで。宇宙が生まれたとき（正確には生まれたと定義するのも正しいのかどうかだが）時間空間、光、物質、ありとあらゆる森羅万象が生まれたとき、物理法則に従って、今現在、未来も決まっていると見えるのだろうか。

幽霊を見る人がいる、私は見たことがないが、見る人は見るのだという。この存在するかどうかという定義がまた難しい。たとえば、ここにリンゴがあります、と言う。私には見えないが、彼はここにリンゴがあると言うのだ。それならば彼にとっては確かにりんごがあるのだろう、と言わざるを得ないと思うのだ。これはたとえば他人の痛みや心を知ることができないのと似ている。自分を自分たらしめているものはなんだろうか？肉体だろうか？肉体はある程度、改変する事が可能だ、とすれば、肉体ではなく精神だろうか。精神は神経細胞とシナプスがそれだと思うのだ。とすれば肉体はいわばゲームの中のアバターに過ぎないわけだから、顔やスタイルを気にする必要はない。ひよっとすると我々もゲームの中の登場人物に過ぎないのかもしれない。

地球が平らだったと信じられていた時代、地球のはしっこが崖になつてると考えられていた。しかし、今は地球は球体だと知っている。知っているだけで我々は確かめてはいない。

人類が月に行ったことも、我々は知っているが、確かめてはいない。それどころか、私がアメリカに行ったことがないが、アメリカがあることを知っている、しかし本当にアメリカがあるのだろうか？実際に行っていないのだから、あると断言できないのではないか？まあこれは極端だ。過去の話しよう、聖徳太子は存在したかどうか存在していないという説や女だつと言う説もある。しかし、大多数の人は聖徳太子と言う人がいたことを知っている

。過去の記録で。あったことはないのだが。会社のAさんは評判が悪い、とても嫌なやつだと評判だ。私はAさんい会ったことも会話したこともない。Aさんが悪い評判を持っていることを知っているが、それを実際に自分は確かめていない。それならばAさんは本当

は悪い奴ではないかもしれない。

この世に善も悪もない、価値観の違いがあるだけだ。力とは正義という言葉がある、とすれば力のない弱者は悪人だ。弱いということ  
は罪なのだ。とすると私は罪人だ。

こんな疑問がまるで無限にわいてくる、死ぬまで答えの出ない不可  
思議な疑問。

私がこの世に生まれたのは誰の意志なのだろう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0675z/>

---

科学、宗教、哲学的な私が思っていること

2011年12月2日18時03分発行